

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成31年3月13日

計画の名称	1 鶴巻温泉駅南口周辺地区における歩行空間のバリアフリー化（防災・安全）																														
計画の期間	平成29年度 ～ 平成29年度（1年間）					交付対象	秦野市																								
計画の目標	本地区は、小田急線で南北、さらに県道により東西に分断された地区で、朝夕のラッシュ時には、駅に近接し遮断時間が長い踏切があるため、危険な踏切横断をしない歩行者動線を確認し、駅利用者数を適正に南北へ分断する必要があります。そのため、駅前広場を含んだ周辺都市基盤を整備することにより、誰もが安心して安全に歩くことができるバリアフリー化を実施し、交通結節点としての機能を強化するものです。																														
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴巻温泉駅の南北利用者数の適正化。 ・駅前広場整備により、乗合自動車の定時運行の確保。 ・立体横断施設の整備により、伊勢原15号踏切の乱横断者の防止。 																														
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H29当初)</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値 (H29末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 鶴巻温泉駅南口改札口利用者数の朝ピーク時を測定する。</td> <td>311人/ピーク時</td> <td>-</td> <td>510人/ピーク時</td> </tr> <tr> <td>② 駅前広場整備の効果として、乗合自動車の定時運行本数における踏切影響を受ける運行本数の割合を測定する。 (鶴巻温泉駅南口交差点～鶴巻温泉駅北口広場を運行する踏切影響を受ける運行本数の割合を測定する)</td> <td>30%</td> <td>-</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>③ 伊勢原15号踏切の朝ピーク時における乱横断数を測定する</td> <td>237人/ピーク時</td> <td>-</td> <td>130人/ピーク時</td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H29当初)	中間目標値	最終目標値 (H29末)	① 鶴巻温泉駅南口改札口利用者数の朝ピーク時を測定する。	311人/ピーク時	-	510人/ピーク時	② 駅前広場整備の効果として、乗合自動車の定時運行本数における踏切影響を受ける運行本数の割合を測定する。 (鶴巻温泉駅南口交差点～鶴巻温泉駅北口広場を運行する踏切影響を受ける運行本数の割合を測定する)	30%	-	11%	③ 伊勢原15号踏切の朝ピーク時における乱横断数を測定する	237人/ピーク時	-	130人/ピーク時
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																											
	当初現況値 (H29当初)	中間目標値	最終目標値 (H29末)																												
	① 鶴巻温泉駅南口改札口利用者数の朝ピーク時を測定する。	311人/ピーク時	-		510人/ピーク時																										
② 駅前広場整備の効果として、乗合自動車の定時運行本数における踏切影響を受ける運行本数の割合を測定する。 (鶴巻温泉駅南口交差点～鶴巻温泉駅北口広場を運行する踏切影響を受ける運行本数の割合を測定する)	30%	-	11%																												
③ 伊勢原15号踏切の朝ピーク時における乱横断数を測定する	237人/ピーク時	-	130人/ピーク時																												
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,162百万円	A	1,162百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0.0%																				
事後評価																															
○事後評価の実施体制、実施時期																															
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期																									
秦野市職員による評価を実施						平成30年9月、11月																									
						公表の方法																									
						秦野市ホームページで公表																									
1. 交付対象事業の進捗状況																															
交付対象事業																															
A1 基幹事業																															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業主体	道路種別	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考													
												H29	H30	H31	H32	H33															
1-A1	街路	一般	秦野市	直接		S街路	改築	0.55	都市計画道路 曾屋鶴巻線(駅前広場)	駅前広場 A=2,300㎡	秦野市						1,162														
合計												1,162																			
B 関連社会資本整備事業																															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考														
											H29	H30	H31	H32	H33																
合計																															
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																			
C 効果促進事業																															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考														
											H29	H30	H31	H32	H33																
合計																															
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																			

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・鶴巻温泉駅における南北改札口利用者数の適正化が図られた。 ・踏切遮断時間における乗合自動車への影響が少なくなり、定時運行が確保された。 ・県道立体横断施設に歩行者を誘導したことにより、踏切内における乱横断者数が減少した。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（朝ピーク時における鶴巻温泉駅南口改札口利用者数）	最終目標値	510人/ピーク時	目標値と実績値に差が出た要因	事業が完了したことにより、目標値を概ね達成した。
		最終実績値	497人/ピーク時		
	指標②（踏切渋滞の影響を受ける乗合自動車の運行本数割合）	最終目標値	11%	目標値と実績値に差が出た要因	事業が完了したことに伴い、既存横断歩道が廃止され、車道整備による交通の円滑化が図れたことから、大幅な効果を得ることができた。
		最終実績値	2%		
	指標③（朝ピーク時における伊勢原15号踏切の乱横断者数）	最終目標値	130人/ピーク時	目標値と実績値に差が出た要因	事業が完了したことにより、目標値を概ね達成した。
		最終実績値	129人/ピーク時		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場周辺の都市基盤が整備されたことにより、安心かつ安全な交通結節点としての機能が確保され、南口周辺の活性化が図られた。 			
3. 特記事項（今後の方針等）					

計画の名称	1 鶴巻温泉駅南口周辺地区における歩行空間のバリアフリー化（防災・安全）	交付対象	秦野市
計画の期間	平成29年度 ～ 平成29年度（1年間）		

